

令和5(2023)年度 事業計画

I. 基本方針

「白門魂でコロナを吹き飛ばす」との気概で奮闘する支部組織や学员、更には大学や学生たちとも一致団結して、アフターコロナを見据えたニューノーマル社会に適応し得る新たな学员会活動の基盤構築に向けての確実な第一歩を踏み出す。

II. 重点事業

1. 本部に関する事業：学员会の活性化：支部活動応援

学员会の主要事業は学员相互の親睦を図ることであり、そこには各支部における活動を支援することも含まれるが、コロナ禍において活動に苦慮している支部があると聞いている。ついては、令和5(2023)年度の最重要の事業として、支部活動応援計画を立案・実行する。

具体的には、各支部（①地域、②年次、③職域、④海外）に対してアンケートを実施し、各支部の状況を把握し、学员会本部として支部連携のアテンドや資金面等の可能な支援を行う。

2. 広報に関する事業：学员会広報：『学员時報』の電子媒体とのハイブリッド運用の検討と実施

年4回発行している学员会機関紙『学员時報』は、紙媒体であるため16頁という制限がありながら、その郵送料は総予算約6000万円のうち60%を占めている。

学员会の予算を効果的に執行するためにも、メインの読者層である60歳以上の学员への紙媒体郵送は残しながらも、電子媒体である『学员時報オンライン』の内容を充実させ、若手学员を電子版『学员時報』に誘導することを検討し、段階的实施を目指す。

3. 学员に関する事業：若手・女性：CBS講座受講料補助

学员会では持続可能な学员会運営を行うため、現状では少数である若手・女性学员を積極的に応援する計画を推進する。

具体的には、中央大学ビジネススクール戦略経営アカデミーが開講しているMBAエッセンス講座「ビジネスプランニング」(新藤晴臣教授)の受講を、希望する学员(原則、平成令和卒)に最大12名、先着で受講料半額を助成する。助成者は、若手学员委員会が受講最終日に主催する「異業種交歓会」で受講報告(3分間スピーチ)を行う。

4. 大学に関する事業：大学支援：ホームカミングデーへの協賛

学员会では大学が主催するホームカミングデーへの協賛を継続しているが、ここ2年間はコロナ禍によりキャンパスで開催する従来型のホームカミングデーを開催することができず、「オンライン開催」という手段を模索しながら開催してきた。

令和5(2023)年度は、キャンパスでの開催が復活するため、オンライン開催で培った知恵と工夫も盛り込みながら、学员の愛校心を醸成するようなホームカミングデーの開催に寄与する。

5. 学生に関する事業：学生支援：学生ボランティア支援

学员会では、コロナ禍前は中央大学ボランティアセンターに対して白門支援金から活動資金援助(主に交通費、宿泊費の補助)を行っていたが、コロナ禍で学生ボランティア活動が制限されるのに伴い、援助を停止していた。

日常が戻りつつある令和5(2023)年度は、停止していた白門支援金からの活動資金援助を再開するとともに、学生ボランティアと地域支部との連携を推進したり、ボランティアセンターの認知度向上のために『学员時報』等での広報に協力する。

Ⅲ. 令和5(2023)年度学員会事業計画：基本事業

事業	事業（細分）	個別計画
1. 学員に関する事業	(1) 学員表彰	永年在任学員、推薦学員、学員栄誉賞、学員薫風賞、学員会会長賞（スポーツ部門の一部）、学員会会長奨励賞（同）
	(2) 学員サービス	学員カード交付、学員交流行事、白門サロン、会議室貸出、大学スポーツ応援、学生文化活動応援、白門ゴルフ、『学員時報』中央俳壇、白門駅伝
	(3) 若手・女性学員	学員交流行事(若手・女性)、オンライン MTG、 CBS 講座受講料補助
2. 支部に関する事業	(1) 支部活動支援	支部活動支援、支部 Web サイト作成支援、支部「進路(就職)相談会」開催補助、支部「講演会」講師料補助、支部「記念誌」発行補助、中央大学学術講演会開催補助、
	(2) ネットワーク強化	地域ブロック交流、ブロック旗贈呈 大学知名度向上貢献地域交流補助
	(3) 新支部結成	支部新規結成支援、支部旗贈呈
3. 大学に関する事業	(1) 大学支援	大学の中長期事業計画への協力・支援、大学への施設等支援、大学スポーツ強化支援、大学の白門飛躍募金活動への協力・支援、 ホームカミングデー協賛 、大学の社会貢献活動への協力・支援
	(2) 父母連絡会との連携	父母連絡会支部との交流
4. 学生に関する事業	(1) 学生表彰	学員会会長賞、学員会会長奨励賞
	(2) 学生支援	卒業生への記念品贈呈、卒業パーティ後援、在学生への『学員時報』送付、在学生への就職活動対策支援、白門「学生活動スタートアップ」支援金事業、白門祭への協力、生協年末福引への景品提供、 学生ボランティア支援 、ホームカミングデーへの学生参加促進
5. 奨学金に関する事業	(1) 白門奨学会	公益財団法人白門奨学会への寄附、経費補助行政手続
6. 本部に関する事業	(1) 学員会管理	支部長会議、協議員会・総会等の会議運営、学員名簿管理、学員間連絡ツールの検討、会則等の見直し、事務局整備
	(2) 財政基盤確立	学員会財政基盤の確立、予算、執行、決算
	(3) 学員会の活性化	学員会費納入の依頼・促進、 支部活動応援 、年次支部解散後のフォロー、SDGs 推進
	(4) 白門支援金事業	募金、支援事業選定
7. 広報に関する事業	(1) 機関紙発行	『学員時報』発行、『 学員時報 』の デジタル媒体とのハイブリッド運用の検討
	(2) Web サイト運営	Web サイト『学員時報オンライン』、大学 Web ページの改訂・保守
	(3) 学員会広報	学員会案内リーフレット制作、大学広報との連携、学生広報との連携、キミハルシネマ・フェスティバル、VI（ヴィジュアル・アイデンティティ）推進、大学・父母連・学員会での広報誌検討

